

※本資料の私見については個人に属する見解です

防災につよいまちづくり



久保田 崇
掛川市長

t-kubota@city.kakegawa.shizuoka.jp

Twitter: takashi_kubota

もくじ

※あくまで予定です

1.最近の災害から

2.東北の被災地で起こったこと

3.掛川市の防災

4.Q&A

最近の災害から

- 熱海市の災害に消防隊等を迅速に派遣
- 「避難勧告」がなくなり「避難指示」に一本化
- 「空振りを恐れず避難を」ではない。素振りと考えよう。

陸前高田市の概要と被災概況

- ・ 岩手県最南端、大船渡市を北隣とする漁業の町
- ・ 被災前人口 24,246のうち、
死者数 1,771（行方不明含む）
犠牲者率 7%超（被災地域で最大）
市役所職員 295人のうち68人死亡(25%)
- ・ 世帯数 9,000弱のうち、
全壊 3,159を含む3,368戸が被災
- ・ その他全壊・・・市役所、公民館、図書館、体育館、野球場、高田病院、小学校1、中学校3
and more...

陸前高田駅前通り 震災前 before



陸前高田駅前通り 震災後 after



陸前高田市役所庁舎



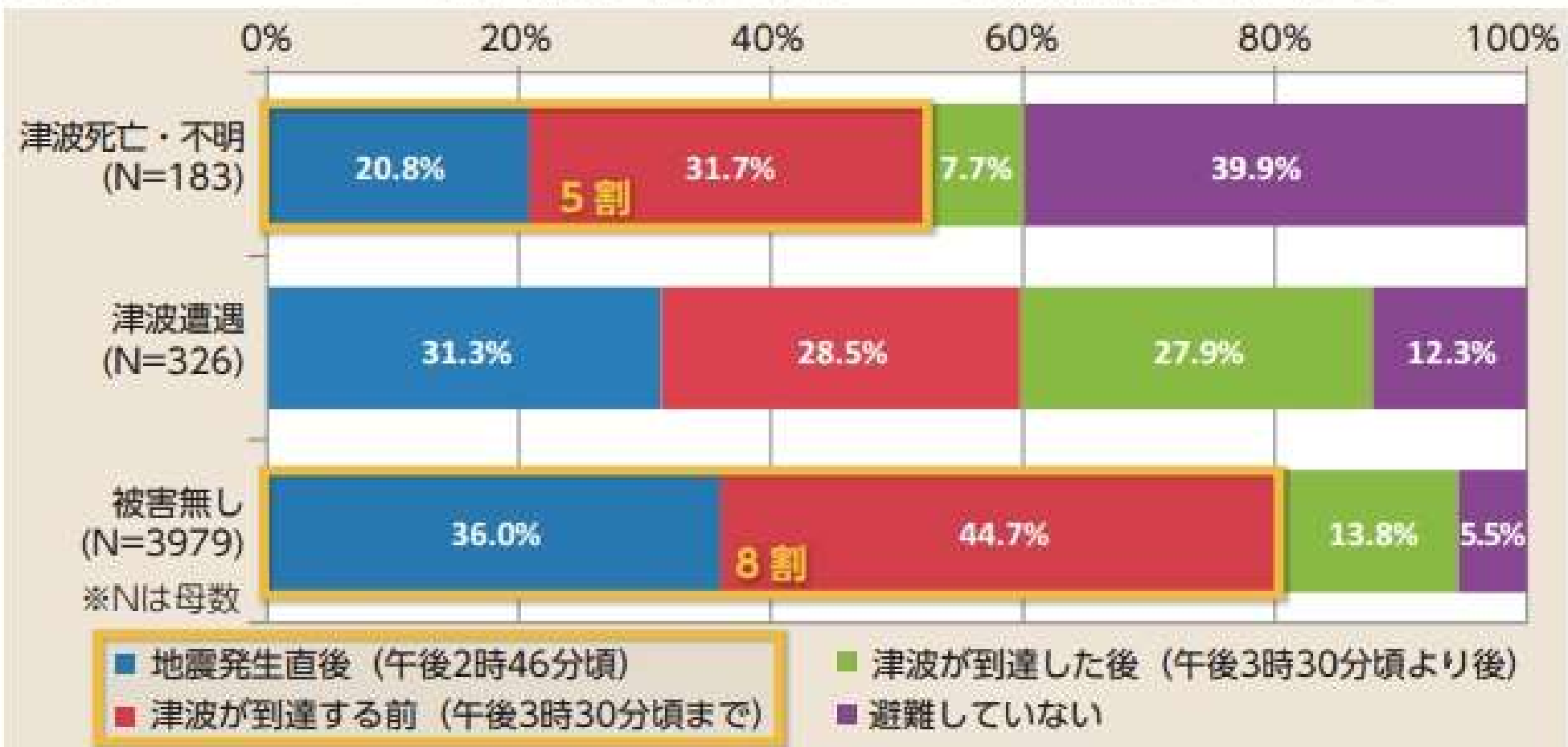
東日本大震災の教訓



8 指定避難所となっていた市民会館（中央白い建物）。130-170人の犠牲者を出した

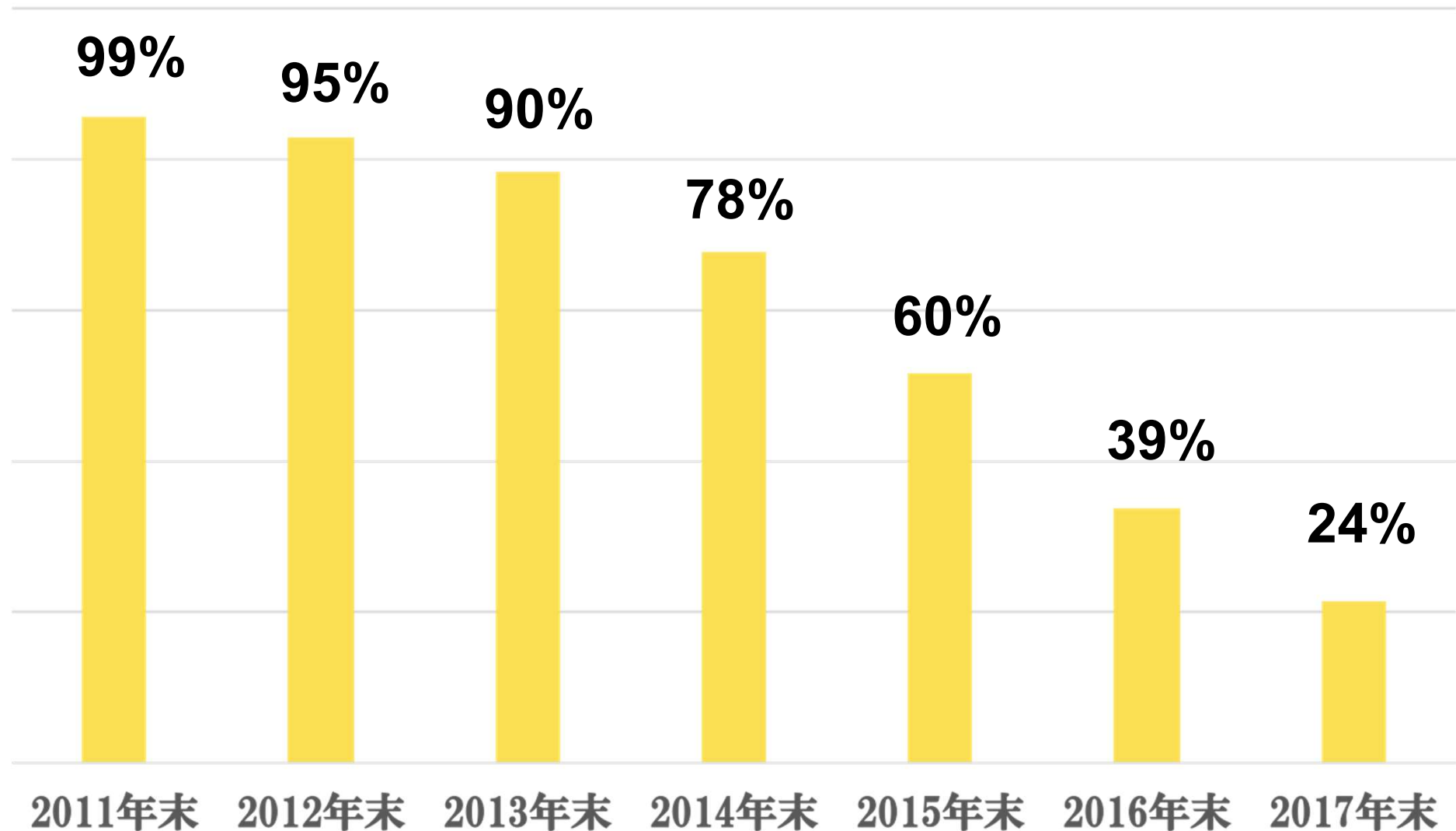
陸前高田市内、全世帯アンケートからわかったこと

避難のタイミングと被害状況 (当日の行動についての情報が得られた人のみ)



陸前高田市 仮設住宅入居戸数の推移

(100%=2,168戸:当初建設戸数)



岩手県「応急仮設住宅（建設分）供与及び入居状況」（各年12月末日時点）などから作成

進捗評価/被災地で学んだこと

- 住居、学校等のインフラ整備が進んだ
- 街はコンパクトに再生
- 死者は戻らない
- 人口減少が進んだ

掛川市で死亡者ゼロを目指すために

- 地震、津波、洪水、土砂、原子力のどれがどのように怖いのか？
- 過去の災害から何が学べるか？
- 「空振りを恐れず避難を」ではない。素振りと考えよう。

掛川市で死亡者ゼロを目指すために 2

- **しっかりと避難すること。家庭の避難計画活用。事前に家族と話し合う。**
- **耐震・家具の固定。阪神大震災の教訓。**
- **食糧備蓄 7 日分確保。普段食べているものを多めに。**
- **携帯・スマホの乾電池式（又はソーラー）充電器。家族の電話番号をメモする。**
- **訓練参加。救出・救助。避難所運営。**

最後に

- 災害では「逃げる」ことが大事
- 地元復興にかける思いに触れて
- 挑戦しよう 後悔しない人生を

ご清聴ありがとうございました